

北陸街道滑川宿～～まちなみ保存と活用

20.09.22to

1. はじめに

富山県東部域は新川といわれており、そこには滑川、魚津、黒部の三大市域があり、三者三様で張り合っている(ように思える)。ここでは、滑川宿を対象とする。

県下の宿場町においては、当時の面影を残しているのは滑川宿だけである。それだけに、宿場町のまちなみをどう現代的に継承・発展させるかが大問題となっており、滑川の熱い方々による街づくり運動として、宿場の保存活用運動が展開されている。ここでは、宿場の現状、保存活動、活用活動について述べることにする。ただし、滑川宿の街づくりについては「NPO 滑川宿まちなみ保存と活用の会」の理念・方針によった。なお、本稿の構成は；

- ・滑川町
 - ・まちなみ
 - ・町家概要
 - ・保存と活用

2. 滑川

2.1 滑川町の概要

- ・滑川は、農業、漁業、商業の町である(図1)。町は最初に大町が永正年間(1504-21)に、狭町(現瀬羽町)が天正年間(1573-92)に、新町(現荒町)・中町・神明町が慶長年間(1596-1615)に、それぞれ街道沿いに数珠つなぎに形成された。
 - ・江戸時代には北陸街道の宿場町として栄え、



図1 滑川宿の地図、丸印が旧宮崎酒造

加賀藩の年貢米等積み出しを含め物資集積地としても賑わっていた。(写1)

- ・町の中心は橋場である。ここは複数の小河川が合流し河口を形成していることから船着場として物資の集積場であり、経済中心地となった。
 - ・明治に入り、滑川は中新川郡の中心となった。



写1 橋場

写2 北陸街道

2.2 滑川宿まちなみ

- ・街道沿いには社寺や町家(土蔵含む)の建築物が少ないながらも6軒残っていることで、街の風情は保たれている。近代の建物で街道筋を固められているとはいえ、瀬羽町に集中して現存する建物により、町並みはぐっと引き締まっている感がする。(写2)

- ・現存の建物は、瀬羽町の多いので、瀬羽町が滑川宿の中心となっており、とりわけ旧宮崎酒造が拠点となっている。

- ・宿場を代表する建物は本陣である。町の中心、大町にあった桐沢邸が本陣を務めた(写3)。桐沢邸は寛永2年(1625)から天保9年(1838)までであり、1789年から10年間は脇本陣の養照寺が本陣を務めた。また、天保13年(1842)から幕末までは、小泉家(旧宮崎酒造)と養照寺が交互に本陣を務めた



保 13 年(1842)か 写 3 大町にある本陣跡地
ら幕末までは、小
泉家(旧宮崎酒造)と養照寺が交互に本陣を務め
た

- ・県内で本陣として唯一残っているのは、養照寺であり、貴重な存在である。(写4)
建築としては、殿様が居する「上段の間」では。

「格天井」、「床の間」、「書院付」があり。広さは10畳敷である。冗談の間からは廊下を挟んで庭が見える。風情は格別なものである。



写4 養照寺全景、上段の間、庭園

2.4 町家概要. (写5)

現存する町家について、建物の状況を説明する。ただし、養照寺も掲載とする。

(1)旧宮崎酒造(ほんぽこさ) :

弘化以降、養照寺と交代で本陣を務める。

515m²と広く、宿場の拠点となっている。音楽会、

美術展、各種イベントの主会場になっている。

なお蔵が3棟あり、常設喫茶店の棟であり、他に、美術展・音楽会会場棟として使われている。

(2)城戸家住宅(じんでんや) :

当時から商店として使用。今も貸店舗で使用。

(3)養照寺本堂、旧本陣

- ・養照寺旧本陣：木造平屋、天保13年(1842)頃

- ・養照寺本堂：木造平屋棟瓦葺、大正5年(1916)、天保9年(1838)に焼失。明治45年(1912)～大正5年

(4)この他、文化財的に重要なものは；

- ・菅田家住宅主屋：明治初期

- ・小沢家住宅蔵：明治後期、土蔵二階建

- ・廣野家住宅(四川亭)：大正三年、展望が抜群。

- ・廣野医院：昭和7年、木造二階建再建。

- ・滑川館本館：現役の旅館で頑張っている。

- ・櫟原神社



写5 旧宮崎酒造、四川亭、城戸家

3. 街並み保全に向け

3.1 地元民主体の活動団体

滑川宿では早くから街を守る地域世論があり、形になったのは2000年頃からである。その後、2010年5月には、一般市民の視点で宿場町滑川宿の町家等の保存を目的に「滑川宿まちなみ保存と活用の会」が設立され、2013年3月にNPOに移行された。今ではNPOが中心になり、多くの団体とのタイアップもあり、活動が展開。

3.2 方針 (1)滑川宿全体で常に開放されている拠点を設ける。拠点は旧宮崎酒造である。

(2) 生活に根差した伝統文化活動：端午の節句、ひな祭り、獅子舞、芸術、伝統音楽、伝統食事、他。

(3)滑川宿の伝統的時間空間のもとで現代日常の活動：展覧会、講演会、芸能演芸会、音楽会、交流会、現代祭り(ランタン祭り)、他

(4)交流：大聖寺藩参勤交代ウォーク(江戸～大聖寺、13泊14日、行程540km)、滑川宿にて歓迎(写6)。



写6
参勤
交代
ウォーク

▲参考文献 1)永井康夫監修：滑川宿パンフ、NPO保存会

2)小森忠：滑川宿の街並み保存と活用、その2～4、新建研究集会梗概集、2014.11、2016.11、2018.11、

▲謝辞 NPO保存会の方々に感謝申します。